

職員による自己評価

**A環境面**  
 ・物の置き場所が整然としていないとわかりづらい

**B児童への支援内容**  
 ・その日にあった出来事の情報など話し合いされているがその情報を継続して活かしてきれていない  
 ・支援の振り返りをするスパンを早めたい

**C関係機関との連携**  
 ・地域の障害コミュニティとのつながりは多少ある  
 ・近隣のコミュニティや活動には参加できていない

**D保護者への説明責任・信頼関係**  
 ・保護者から上がってきた情報の職員で共有できていない事がある  
 ・帰りの送迎の際など細かく様子を伝えられないことがある

**E非常対応**  
 ・訓練は行っているが、マニュアルに基づいていない  
 ・マニュアルが周知されていない  
 ・避難訓練が年2回で足りるのか

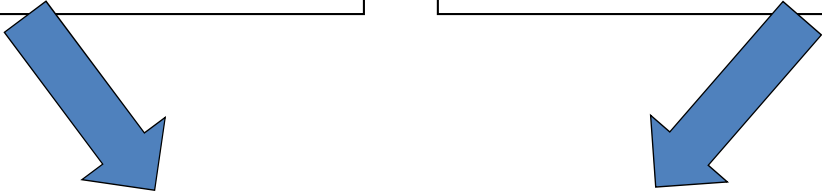
保護者による評価

**A環境面**  
 ・児童が多い日などは活動スペースがせまいと感じる

**B児童への支援内容**  
 ・活動している所を見たことがないのでわからない  
 アンケートより 児童クラブや児童館との交流、障害のない子どもとの交流がないは低く評価されている

**C事業所からの情報発信**  
 ・インターネットではボランティアを招くと書いてあるが、来たことがない。  
 ・以前より地域活動が少ない。  
 ・保護者からの質問に対する回答がないことがある

**D非常対応**  
 アンケートより マニュアル面の準備、訓練などは低く評価されている。



事業所内での分析

**【共通点】**  
 地域のコミュニティや地域活動へ参加できていないとする意見が多い。  
 防災のマニュアルや訓練が不十分である（または周知されていない）  
 情報の共有・伝達がスムーズでないことがある

**【相違点】**  
 スタッフはより細かく様子を伝えたいと考えている

## 分析・検討してみて…

### 事業所の強み

支援についての説明・児童への課題の取り組み・共通理解・助言など、日々の支援に対する姿勢は評価されている。

ホームページでの情報発信が周知されてきている。

日々の活動で新しいゲームや遊び道具などを取り入れている。

### 事業所の改善点

ハード面でスペースの狭さや物の多さがある。使い方を工夫する必要がある。

情報の伝達方法をスムーズにする必要がある。

地域への参加ができていない。

防災マニュアルなどを日々の訓練により取り入れていく。

### 事業所の改善への取り組み

支援についての試行錯誤や工夫は継続しながら、地域への参加など職員の関心を外へ向けるように活動プログラムを組んでいく。現在は職員の関心が施設内（児童・支援）ばかりになってしまっている。

新しい取り組みはホームページや新聞などの発信手段で保護者の方へしっかりと伝える。

防災訓練やその手順についてもスタッフ間で再検討し、結果が伝わるように考える。

### ～自己評価を行っての事業所としての感想など～

自己評価前に考えていた事業所のイメージとは少し違った点が問題として挙げた。保護者の方からの意見が加わり、普段気づかない点を意識できた良い機会だったと感じる。